

**令和4年度
金鷲旗高校柔道大会
参加上の連絡事項と諸注意**



<連絡事項>

1、会場受付

- ・21日(木) 正午～午後3時および22日(金)、23日(土)の指定の時間 1階北側入口外
- ※受付時に選手ID、プログラム、監督ID(学校名を必ず記入)などを渡す。
- ※部長IDは登録チームのみに渡す。受付時にお申し出のこと。
- ※22日(金)、23日(土)の受付時間はパート毎に異なる。大会HP内「感染対策基本方針」に記載の時間を確認すること。

2、会場での練習

- ・21日(木) 正午～午後3時 1階メインアリーナ
- ・(21日を除く)期間中、22、23日女子、24日男子 各パート第1-2試合、午前7時～同7時半 1階メインアリーナ
- ・期間中1階サブアリーナは、その日の試合終了時まで使用可。入場入替え制のため、時間制限がある。大会HPで確認を。
- ・女子更衣室は1階選手控室とする。

3、監督会議

- ・21日(木) 午後3時半～ 1階サブアリーナ
- 社会通念上、見苦しくない服装で参加のこと。また、やむを得ない事情で参加できない監督は書面で大会事務局にFAXすること。

4、開会式は行わない。

- ※22日(金) 7時50分より、女子開始式(各パート第1-2試合のみ整列)を行う。

5、棄権の場合

- ・参加申し込み後、棄権する学校は理由を明記の上、19日(火)までに必ず書面で大会事務局へFAXすること。

6、駐車場

- ・大会事務局指定(HP参照)の有料駐車場を使用のこと。21日は午前11時半、22日～24日は同6時半開門。普通車500円、マイクロバス1,000円。

7、呼び出し

- ・呼び出しは試合の妨げとなるので行わない。連絡方法は各自で徹底のこと。

8、弁当・宿泊

- ・これから宿泊斡旋を希望する学校は西日本新聞旅行へ申し込みを。大会参加申込み時に申し込みを行った学校には宿泊手配内容を西日本新聞旅行より回答する。ホテル確定後、西日本新聞旅行より宿泊の最終案内、請求額を連絡する。

〈宿泊の問い合わせ先:株西日本新聞旅行〉

電話092-711-5518 FAX092-711-1969

(営業時間) 平日 午前9時半～午後5時半 土曜 午前9時半～午後1時
(日祝休み)

- ・弁当引き渡しを2階武道場で行う。事務局申し込みの学校は午前10時～午後1時の間に引き取りに来ること。

※代金は当日商品と引き換え

〈弁当の申し込み問い合わせ先:ビー・トゥ・ビーサポート〉

電話番号:092-282-1118 FAX092-402-1727

9、負傷・病気

- ・負傷、病気の際は、救護室（1階メインアリーナ横）で対応。応急処置用の簡単な救急セット、冷却剤、氷などは各校で準備のこと。特に21日(木)は医師が待機していないので注意。

※脱水症状、熱中症に注意して、こまめに水分を補給してください。

- ・保険は主催者で加入しているが、参加者は健康保険証、またはその1面および2面のコピーを必ず持参のこと。大会期間中の病気・負傷の応急処置は主催者で行うが、それ以後は各自の責任とする。
- ・医師の判断によって、救急車等で病院に搬送する場合がある。必ず付添者を同行させること。

10、会場へのアクセス

- ・大会HPの案内図を参照のこと。会場周辺は混雑するので、くれぐれも試合時間に遅れないよう余裕を持って出発すること。事故などで遅れそうな場合は大会事務局へ連絡のこと。☎092-711-5530

※駐車場に限りがあるため公共交通機関の利用を推奨。

※選手の乗降・荷物の積み下ろしは北側臨時駐車場内の乗降場で行うこと。交通渋滞の原因、住民の迷惑になるため、一般道路での乗降は禁止。

- ・新型コロナウイルス感染防止のガイドライン
- ・試合場入場制限（1F入替え制）
- ・観客席入場制限（2Fオンライン有料・事前登録制）
- ・健康記録表兼同意書の提出
- ・チーム内に感染者が発生した場合の対応
- ・女子決勝、男子準決・決勝を除く全試合ライブ配信（有料）の視聴方法

大会HPに随時更新する。



＜試合上の注意＞

試合時間は3分。

- 優勢勝ちの判断基準は、「技あり」又は「僅差」以上とする。但し、僅差は「指導差が2」とする。
- 「技の内容」と「指導」の重み
一本勝ち＝反則勝ち＞技あり＞僅差の順とする。
- 大将同士引き分けによる延長戦の場合は、技のポイント、指導の回数は持ち越さ

れ、引き続きスコアボードに表示される。

○両者指導3なら、両者反則負け。

※ただし、大将同士両者反則負けの場合、延長戦を1回に限り行い、必ず勝敗を決する。その際は、技のポイントはリセットされる。

○頭から畳に突込むこと（通称：ダイビング）をした場合、その後の一連の試合に出場することはできない。

○ヘッドディフェンスは反則負け。

※チームが勝ち上がった場合、当該選手は試合に出場できる。

1、選手変更、補欠の補充について

参加申し込み後、負傷、病気等やむを得ない事情で大会に出場できない選手が出た場合は、インターネットで新エントリーシステム「大会運営向上心」(<http://kojo-shin.com/judo>) にログインの上7月12日(火)17時半までに選手変更依頼を提出すること。それ以後の選手変更は届け出の補欠で補い、新たな補欠の補充は認めない。詳細は実施要項の競技規定を参照のこと。※「大将が欠場したチーム」で「副将が負け・引き分けた」チームは「負け」とする。※欠場についての選手変更は各試合場で受け付ける。

2、対戦区分に必要な紅白帯（木綿）各5本を必ず持参のこと。

3、男女とも選手は、背中に必ず全柔連指定のゼッケンを縫いつけること。

4、監督の言動

試合が止まっている間（「待て」から「始め」の間）のみ、選手に対して指示を与えることができる。試合続行中は、選手に対して指示を与えることが許されない。

5、皮膚真菌症（トングランス感染症）については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において的確な治療を行うこと。なお、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。

6、脳震盪対応について、選手および指導者は下記事項を遵守すること。

ア 大会前1カ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。

イ 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。（なお、至急、専門医（脳神経外科）の精査を受けること。）

ウ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。

エ 当該選手の指導者は、大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

7、開会式（プラカード）はありません。

8、試合場内には監督、選手、補欠の8人以外は入場できない。（各試合会場に新聞社のカメラ席を設ける）

9、敢闘賞（5人、10人、15人、20人抜き）はその都度本人が大会本部席（正面舞台上）へ取りに来ること。

10、参加申し込み時の登録・写真、試合中の写真および動画は、西日本新聞・西日本スポーツ紙面、大会公式ホームページSNS、東建コーポレーション「柔道チャンネル」などに掲載する。

<禁止事項>

- 1、ひも、荷物を使った場所取りは観客同士のトラブルになるので禁止。目に余る場合は排除し、監督に注意する。
- 2、指定場所以外での練習は禁止。
- 3、事故多発のため、選手送迎車両の会場前、周辺での路上駐車は禁止。
- 4、試合場回りでの飲食は禁止。飲食はロビーまたは観客席で。
- 5、動画撮影は試合場、観客席では禁止。
- 6、フラッシュを使用しての写真撮影は禁止。
- 7、校旗、部旗の会場内外での掲示は禁止。
- 8、席取りのため、前日から徹夜で会場前に並ぶのは禁止。
- 9、荷物は毎日持ち帰ること。放置物はすべて撤去する。
- 10、会場内コンセントの使用は禁止。
- 11、会場入口前での入場券の譲渡および売買は禁止。

観客席の一部前方は応援席として、入替制となります。
試合終了後はすみやかに次試合の応援者に席をおゆずりください。

盗難・紛失防止のため、貴重品は各自の責任において保管してください

各自ゴミの持ち帰りにご協力ください

<大会事務局>

〒810—8721 福岡市中央区天神 1—4—1
西日本新聞イベントサービス内
T E L 092—711—5530 F A X 092—731—5210

* 7月20日（水）～29日（金）の期間中のみ
（照葉積水ハウスアリーナ内に事務局を移動）

<試合結果>

- ・試合の結果については、下記の各種サービスを利用のこと。
- 金鷲旗大会 携帯サイト



- 金鷲旗大会ホームページ

< P C ・ 携 帯 ・ ス マ ー ト フ ォ ン >

<https://specials.nishinippon.co.jp/nsp/judo/kinshu/>

<テレビ放映>

金鷲旗大会テレビ放映〈女子・男子〉
7月24日（日）16：30～17：25
F N S 九州・沖縄8局ネットで放映
テレビ西日本、サガテレビ、テレビ長崎、テレビ熊本、
テレビ大分、テレビ宮崎、鹿児島テレビ放送、
沖縄テレビ放送